

第 4 回懇談会で出た意見のまとめ【国分寺街道沿道のふさわしいにぎわいとは】

★：第 4 回まちづくり懇談会での意見

【何度も訪れたいと思うまち】

- ★「ここにしかないもの（ここでしかできないもの）」がある。（駅から少し遠い場所なので、色々な人が来てくれると思う。）
- ★小さい「こだわり」がまちのいたる所にある。
- ★地域の魅力を引き出すことにより、にぎわいを創る。
- ★他の地域から来る人々が、またここに来たいと思える場所であること。
- ★時間帯によって訪れる人が異なる。
- ★国分寺、府中の双方向から人が集まる。
- ★地域の人も、遠くからの来訪者でも、集える場所がある。

【人と人がつながるまち】

- ★人が沢山いるだけでなく、しっかりとした地域コミュニティが出来ている。
- ★人と人がつながっている（お互いの事を知ることからスタート）。
- ★新旧の住人がつながる。
- ★新しく入ってきた人たちと元々いた人たちが楽しめて交流がある。
- ★アパート、マンションの住人も「まちの人」として参加できる。



流山市子育て支援センター（べんぎん教室）

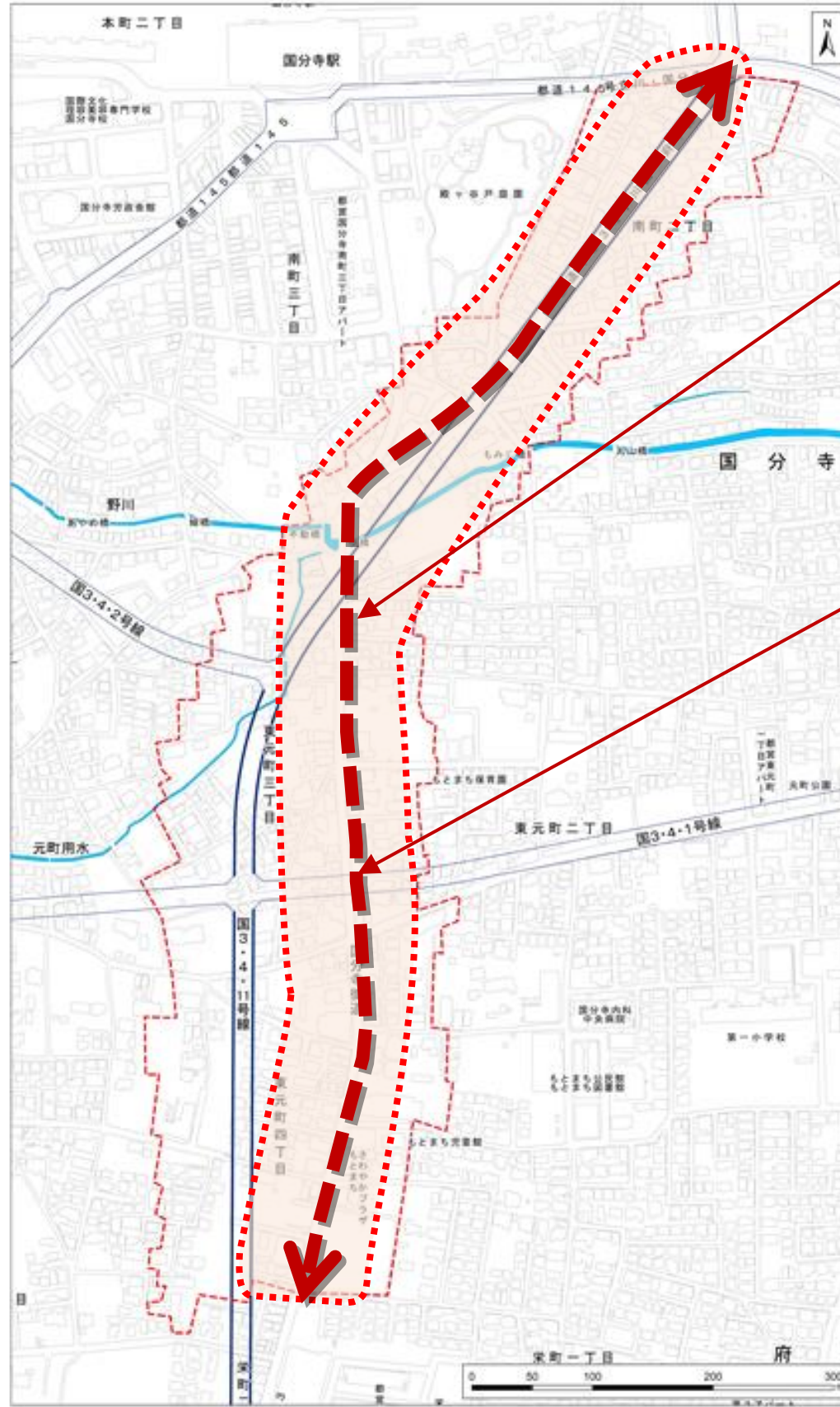
【交流の場所があるまち】

- ★「何かやりたい」と思っている人を地元の人が応援している（できる場所がある）。
- ★多世代が交流する場所がある。
- ★地元の人、お年寄りが集える場所がある。
- ★お年寄り、子育て世代などの世代ごとに集まれる場所がある。



【居心地のいい居場所があるまち】

- ★住民のみんなが地元に行きつけの店がある。
- ★みんなが帰りに寄っていける場所として、商店、ベンチ、写真スポットなどがある。
- ★お鷹の道周辺でウォーキングをする人、学生、高齢者などが寄り道できる場所がある。
- ★学生にも立ち寄りやすい店がある。
- ★このような場所（カフェといろいろびより）がある。
- ★バス停の近くにカフェがあり、そこでお話をしたりする「小さなにぎわい」がある。
- ★大勢の人が集まるのではなく、ここ（カフェといろいろびより）のように地元の人が集まれるようなにぎわいがある。



この地図は、東京都知事の承認を受けて、東京都縮尺 2,500 分の 1 地形図を利用して作成したものである。（承認番号）30 都市基交著第 43 号

【安全なみち】

- ★歩行空間が広がって歩行環境が改善されている。
- ★人々が安全に通ることができる。
- ★安全な街道。
- ★子連れの人々がゆっくり散歩できる。
- ★夜でも安心して安全に歩ける（今は暗くて歩道も狭くて危ない）。
- ★街路灯があり、夜でも明るい。
- ★子どもや子連れの家族が和気あいあいとしている。



桜町本通り商店街（豊田市）

【多種多様な個店が集まる商店街】

- ★商店と消費者がつながる「face to face」の商店街。（インターネットで買い物ができる時代だからこそ顔の見える商店が必要である。）
- ★学校などからの帰り道に、必要な買い物を済ませられる商店街。
- ★個店が並んでおり、その魅力を引き出させる地域。
- ★いろいろな種類のお店がある商店街。



- ★飲食店が増え活気のある道路。
- ★商店街の店舗が、もっと密集している（それによって地域に多くの人が集まり、一軒一軒の店舗にも入りやすくなり、結果的に国分寺街道がにぎわう）。



カフェといろいろびより  
（第 4 回まちづくり懇談会の様子）

